

品川区で、よかった

若手・管理職の成長ヒストリー



若手

事務職／防災課

[P2へ](#)

管理職

[P4へ](#)

文化観光戦略課長



品川区で よかった



事務職／防災課

きっかけは、「インターンシップ」

私が品川区を選んだきっかけは、学生の時に参加したインターンシップです。
区役所職員の仕事のイメージは、窓口で区民の対応を行うといったざっくりとしたものでした。
しかし、インターンシップに参加し、実際に職員とのやりとりを通して、窓口以外での区民との温かなふれあいを知り、区役所で働きたいという思いが強くなりました。
インターンシップの際のまち歩きで、品川区には旧東海道のような古いまち並みが残しつつも、天王洲など最先端のまちのどちらも持つ、ハイブリッドで過ごしやすいまちであることや、職員と区民のやわらかい雰囲気を感じ、品川区を選びました。



失敗から学んだこと

私はシステム担当で毎年通信機器の訓練を行っています。防災課では、IP無線機やデジタル移動通信機など、様々なシステムがありますが、災害時にしか使わないため訓練を行うことが重要となります。
デジタル移動通信機については、ほとんど使ったことがなく、訓練当日にうまくつながらないというトラブルが発生してしまいました。しかし、先輩がサポートしてくれたため、無事に訓練を終えることができました。訓練後もなぜうまくいかなかったのか先輩と一緒に確認をしてくれたため、今後に活かすことができました。
いつ来るかわからない災害に備え、しっかりと機器の使い方について知っておく必要があると痛感しました。今回の経験から、しっかり事前準備を行うこと、担当として誰よりも知識を身につけておくことの重要性を認識しました。

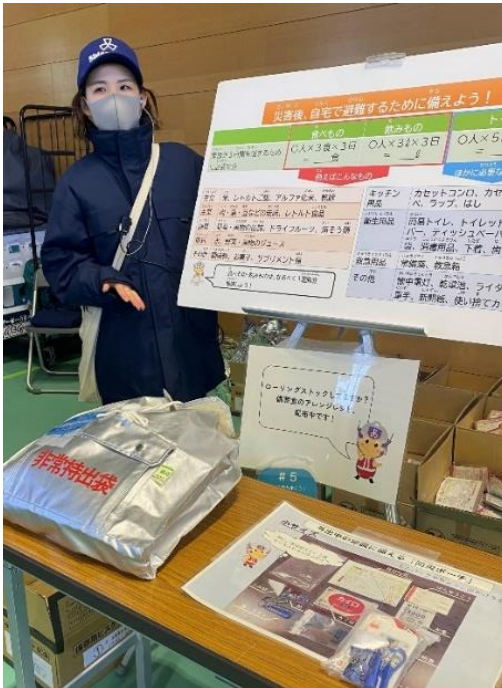


初めてやり遂げた仕事

普段の業務とは別に、韓国からの視察を受け入れる機会がありました。今までは前例を参考に業務を行っていましたが、今回はイレギュラーな対応であったため、0から業務を進める必要がありました。

特に、内部、外部の調整や資料の作成依頼、スケジュール調整など行わなくてはならないことが多くあり、とても大変でした。また、今回は日本語での対応ではなかったため、当日のスケジュールを決めることが特に難しかったです。

初めて一連の対応を行いました。資料作成や会議の時間割など多くのことを学ぶことができ、とても良い経験だったと感じています。



品川区で、防災知識を広めていく

品川区ではいつでも防災知識を学ぶことができる「防災体験館」があり、23区初のオリジナル防災体験VRで災害をリアルに体験することもできます。

また、品川区はシステムの活用が進んでいます。災害が発生し、区民から受けた情報をシステムに入力することで、組織を超えてすぐに情報共有を行い対応することができます。防災システムは日々アップデートされているため、災害時に誰もが使えるシステムを取り入れ、災害が発生した際にもきちんと活用していきたいと考えています。1年目はどうしても業務の内容を理解するだけで精一杯でしたが、2年目になり、業務内容や防災についての知識も増えてきたため、自分が持っている知識をできるだけ多くの区民に伝えていきたいと思っています。また、訓練や会議、イベントなどでお会いする区民が持つ疑問や不安に対しても、丁寧に対応していきたいです。

品川区で よかった

管理職/文化観光戦略課長



管理職になろう きっかけは森澤区長

数年前「100人カイギ」という、会社や地域交流のプラットフォームをつくり、つながりの輪を広げていこうという全国規模で展開しているコミュニティ活動に参加していました。その際に登壇したのが、当時は都議会議員だった森澤区長でした。品川愛、家族愛に溢れた内容で、10分程度のプレゼンでしたが、こういう人が区長になったら面白いだろうな~と思ったら区長になっていたの、これも何かの縁なのだと思います、避けていた管理職に志願しました。



品川の文化や観光を 戦略的にPR

「戦略」というととても大きなことのように聞こえますが、「小さなことの積み重ね」だと思います。そして仕事のヒントは、人と繋がることで集まてきます。

現在、特に力を入れているのは「水辺の活用」です。秋には打ち上げ花火、イルミネーション、クルーズ船とイベントも盛り沢山です。しながわ観光協会のHPでイベント情報がまると分かるので、どの区に入ろうか悩んでいるあなた、ぜひ品川区のイベントに一度遊びに来てください!



壁にぶつかったとき

新規事業の立ち上げが、壁の高さMAXです。防災課時代に「駅周辺帰宅困難者対策協議会」を区内で初めて立ち上げた時、何をどう進めていいのかわからず状態でした。

初心になって、まずは東京都や他区の防災部署への聞き取りに始まり、駅周辺で協力してもらえそうな団体の抽出、アポ取ってお願いに行く。準備会～本会の実施、予算要求、ロードマップ作成などなど。でも、いつの時も相談できる同僚や地域の人があります。だから皆さんも「人を大事」にしてください。この壁の攻略法は、登る？迂回する？穴をあける？引き返す？いろいろ考えて実践してみよう。



周りの人たちが 挑戦をサポートしてくれた

まずは「一緒に汗をかく」こと、次に職場や地域と一体となって、相手の立場をイメージする「想像力」を養おう、そうすると信頼感が生まれ、仕事になります。

サポートは、あらゆる人たちがしてくれますのでご安心ください！

反対の意見もポジティブに捉え、みんなを巻き込む「情熱」と「柔軟性」とちょっとした「鈍感力」もあるといいですよ～。



品川区だからこそ 挑戦できている

自分からやりたいことを企画するのも挑戦ですが、指令や課題を「どう料理するか？」というのも腕の見せ所です。

せっかくだったら言われたこと以上の結果を出してやろうという前のめりなスタンスを！品川区を良くしていきたいという情熱を！そんな暑苦しいぐらいの挑戦者（みなさん）をお待ちしてます！！

